

読書の秋を楽しもう!!



心地よい10月。学習や行事、部活動など、忙しいですが、充実した素敵な季節！
「秋の夜長」のスキマ時間に、ワクワクして読める本を探してみませんか？
ミステリーや感動本、学習、部活動に役立つ本…この時期にしか読めない本を、ぜひ図書館で見つけてください。

「ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人」 東野圭吾（光文社）

教師だった父が殺害された。真世は何年間も音信不通だった元マジシャンの叔父・武史と再会。彼は警察を頼らず、自らの手で犯人を見つけるといい…。『黒い魔術師』が犯人と警察に挑む！東野圭吾による大注目の新シリーズ、「ブラック・ショーマン」開幕！

全国読書週間がはじまります♪10/27～11/9



第2次大戦終戦2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「**読書**の力によって、**平和な文化国家**を創ろう」と、出版社・書店、図書館、新聞や放送のマスコミも一緒になって、第1回「**読書週間**」が行われました。それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民の国」となりました。考える力のもととなる読書。中高時代にしっかり読んでおきたいですね。

さて、今年の標語は…

「こころとあたまの深呼吸。」

めまぐるしい毎日。ちょっと本を開いてみませんか？違う世界が広がって、ホッとひと息。こころとあたまに酸素が満ちたら、また新しく歩いていけそう！

79回めの「読書週間」。楽しく過ごしましょう!!

Take a deep breath with your heart and mind. Through books!





さわやかな秋のオススメ本！



スターゲイザー

まだデビューに至っていない6人の研究生たちの視点で、過酷な芸能界を生き抜く姿を描き上げた作品。キラキラな少年から崖っぷち青年まで、様々な個性。バラバラな6人の未来はどうなるのか？



人間椅子 (江戸川乱歩)

乱歩の初期短編。椅子職人の男はその技で、椅子の中に住み始める。盗みをしたり、人のぬくもりを感じることに喜びを覚えたりした彼は、ついに…。



黒猫 (ポー)

愛していたはずの黒猫を、なぜ？ポーが描く人間の罪と恐怖。短い物語なのに、読んだあと、背筋がぞっとする怪奇小説の名作。



(萌えすぎて) 絶対に忘れない！妄想古文

『枕草子』『源氏物語』『伊勢物語』『万葉集』など、人物関係の楽しく面白い話がいっぱい！男女カップルだけではないことも!「そういう時代で、そういう関係なんだ」とわかったら、古文も、今の小説と同じく身近です。苦手な人におすすめ！



その本は

本好きな年寄りの王様が二人の男に、世界中のめずらしい本についての話を集め、聞かせなさいと命令します。旅に出た男たちは、たくさんの本の話を持ち帰り、王様のために夜ごと語り出しますが…。



カレー移民の謎 日本を制覇する「インネパ」

日本でよく見かける格安インドカレー店。そのほとんどがネパール人経営、同じメニューなのはなぜか？「インネパ」と呼ばれる店たちが日本で増えていった謎を追った実話。ミステリー小説のようで、読みやすいです。



夢のお仕事さがし大図鑑

200の名作マンガから、人気の170のお仕事を紹介。どんな仕事か、どうしたらなれるか、必要な資格は？など、ていねいに解説。職業体験学習にも役立ちます。将来なりたい職業を楽しみながらさがせる、仕事図鑑。2年いこいスペースにあります。



アレの正しい使い方

電卓のM+ボタンの使い方知ってる？クリアファイルの三角の切り込みは何？知っていそうで知らないアレの使い方を徹底的に伝授！ふだんの道具たちを使いこなそう！



話題の映画の原作『国宝』上・下も入りました！読破に挑戦！

文化祭★ビブリオバトル決戦!!

第1位は！
「神様の定食屋」



「神様の定食屋」

両親が残した定食屋を、妹と二人で切り盛りすることになった兄。料理下手なことで、神様だのみをするが…。読んで心が温まる一冊。



「サッカク探偵団」

カケルとクラス仲間が参加したパーティーで2つのダイヤが盗まれる。トリックには、サッカクが使われている。頭を使うミステリー。イラストはヨシタケシンスケさん！



「死体が教えてくれたこと」

2万体の検死を通して、人間の存在を考え続けてこられた上野先生。若い人々に直接話しかけるように記した本。死と向きあってこられた様子が記される。

ビブリオ、3人とも
しっかりしゃべって
たなあ～！



9月以降 よく読まれている本の紹介じゃ！



「告白」(湊かなえ)

自分の子供が殺された、犯人はこの中にいる、と女性教師が告白している所から、始まるこの作品。復讐の怖さを思い知らされます。



「羅生門」(芥川龍之介)

平安時代末期の荒れはてた京都を舞台に、極限状態に追い込まれた人間の心理を、わずかのページで描いた日本近代文学の名作です。



「星の王子さま」
(サン＝テグジュペリ)

砂漠に不時着した飛行士が、小さな星からやってきた王子さまと出会う。王子は自分の星での生活、旅で会った変わった大人の話を語るが…。



「100人で鑑賞する百人一首」
(松田元治編)

烏丸中には「百人一首」の本がたくさんあります。この本は100人の人の読み方が書かれています。「ちはやふる」小説もあります。

でも、なんかしんどいわ、本ってどう良いの？

読む時間がとれない！

作文とかしゃべりとか苦手ですねん！

世界をのぞき見、 書く力、しゃべる力がつく 「本読み～～！！」

「本」は、人が考えを、伝えているもの。読者に語りかけているものですよね。

書く、しゃべるというのは、要は、「自分の考えを、相手にわかりやすく伝える」こと。「本」、他人の文章は、いわば、お手本集だと思えば良いのです。

本を読む力があると・・・

言いたい事や要点をつかめる⇒
構成、流れを理解できる⇒

書く・話す力への影響

自分の考えも要点を押さえられる
起承転結など、論理の展開がうまくなる

「読む→考える→書く・話す」の順は、頭と心に良い！ おすすめの流れは・・・

- 朝読書・授業などの時に、集中して文章を読む（物語・説明文・エッセイなど）
⇒1冊を全部、読みきらなくて良い。記事などもおすすめ。
- 内容を要約する（誰が・何を・どうした？） ⇒頭で思い返す、書く。
- 自分の考えを書く（感想・意見・例・理由など）（例 400字原稿1枚⇒しゃべり1分）

週1でもいいので、これを繰り返すことで、「読む力」と「書く力」が一緒についてきます ✨
特別なノートに書いたり、タブレットにメモしたりなど、やってみよう!!

図書館の本たちは、皆さんののぞいてくれるのを、待ってますよ～～！！

前期委員会の皆さん、お疲れ様でした！ ありがとうございました。



図書館の開館で、図書委員さんたちが頑張ってくれていたように、全クラスの代表の前期各委員さんたちは、日々、頑張ってくれていました！ 毎日、大きな行事も、1つ1つの準備と、1人1人の協力で、出来上がっていくんですね～。
ほんとうにありがとうございました。